

IPF

WRワイヤレススイッチ(WR-3)用 調光モジュール取扱説明書

品番：WR-3M

この度は、IPF 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本説明書に記載の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。
お読みになった後も本説明書は大切に保管し、紛失しないようご注意ください。
本文中の **△注意** マークと **△警告** マークは
取り付けおよび取扱いに関して大変重要な事項ですので厳守してください。

作業の前に

- 本モジュールは、LEDライトバー600シリーズの調光機能をWRワイヤレススイッチで操作するためのオプションモジュールです。調光機能を追加するものではありません。また、調光機能をもたないLEDライトバー600Sシリーズとは接続できません。
- 他社製品と接続した場合には、動作保証外となります。
- 本モジュールは防水仕様ではありません。水のかからない場所に設置願います。
- 配線接続用の端子類や、モジュール固定用の結束バンド等は付属していません、別途ご用意願います。

安全上/使用上のご注意 △注意

- 本製品は12V専用です。24Vには対応していません。
- 本製品の取り付けは必ずお買い上げの販売店もしくは技術力のあるショップに依頼してください。
- 取付作業は必ずエンジンを切り、ランプスイッチをOFFにし、バッテリーのマイナスターミナルを外してから行ってください。
- コネクタや端子は確実に接続してください。
- 本体および付属品の改造や分解は行わないでください。(故障の原因になります)

構成部品

No.	品名	個数
①	調光モジュール本体	1

配線方法

- バッテリーのマイナスターミナルを外してから、作業を行ってください。バッテリーが2個搭載されている車両は、両方共マイナスターミナルを外してください。
- 本体やハーネスは、高温部から離れて取り付けてください。(エンジン、ラジエター、過給器、排気管など)
- コネクタや端子は、確実に接続してください。
- ハーネスやコネクタは、強く引っ張らないでください。
- ハーネスやコードは可動部でこすれたり、はさまれたり、押しつけられたりしないように取り回してください。(ペダル、ワイヤー、ドア、ベルト、ブリーザーなど)ハーネスやコードの被覆が損傷すると火災の原因となる事があります。
- ハーネスやコードは、クリップバンドやテープを使用して固定してください。

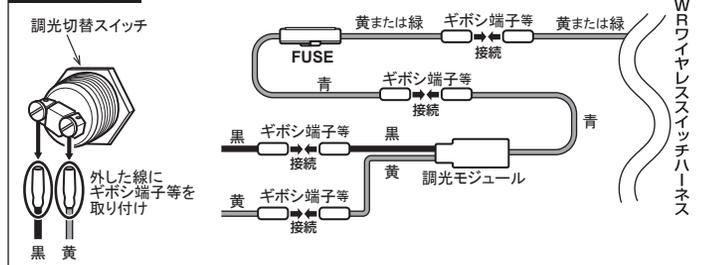
△警告

- 安全のため、調光モジュールの青線とWRワイヤレススイッチハーネスの黄線(スイッチ1で制御)または緑線(スイッチ2で制御)の間には、必ずWRワイヤレススイッチ付属のヒューズを入れてください。
- 調光スイッチの配線を直接WRワイヤレススイッチハーネスに接続すると、動作しただけでなくLEDライトバーが故障するおそれがあります。必ず調光モジュールを接続してください。
- 配線の接続方法を間違えると、ショート/誤動作/故障の原因になる可能性があります。

1. ライトバー用ハーネスとの接続

接続図を参考に、調光切替スイッチの配線を調光モジュールを介してWRワイヤレススイッチハーネスに接続してください。
調光切替スイッチの配線を2本ともスイッチから外し、調光モジュールの黄線/黒線とギボシ端子等を用いて接続してください。
調光モジュールの青線を、WRワイヤレススイッチに付属のヒューズを間にはさんでWRワイヤレススイッチハーネスの黄線か緑線にギボシ端子等を用いて接続してください。
黄線に接続した場合はスイッチ1、
緑線に接続した場合はスイッチ2が調光スイッチとなります。

接続図



2. 調光モジュールの固定と操作方法

モジュールの接続が完了したら、結束バンドやビニールテープ等で調光モジュールをハーネスに固定してください。

△注意

- モジュールの固定に結束バンドを使用する場合、モジュール本体部でなく配線部を締め付けてください。結束バンドでモジュール本体部を強く締め付けると、モジュールの電子部品が破損するおそれがあります。

調光モジュールを接続してスイッチを1回操作すると、その時点で明るさは変わりますが、そのままでは調光スイッチが押しっぱなしの状態のため、もう一度操作して(計2回押し)押しっぱなしを解除する必要があります。

本体スイッチで操作する場合は上記のように2回スイッチを押す必要がありますが、スマホから操作する場合、アプリのSettings内のスイッチ設定を初期設定のAlternateからOne Shotに変更すると、スイッチの動作が「1回タッチすると短時間ONしたのち自動的にOFF」へと変更になり、2回タッチする手間が省けて便利です。